

参考資料

【海外発プレスリリース】

本資料は、ガートナーが発信したプレスリリースを一部編集して、和訳したものです。
本資料の原文を含めガートナーの発信したリリースはすべて以下でご覧いただけます。
<https://www.gartner.com/newsroom/>

2019年1月30日

報道関係各位

ガートナー ジャパン株式会社

ガートナー、2019年末までに、世界のIT支出が3.8兆ドルに達すると予測

景気後退や英国のEU離脱といった不安要素にもかかわらず、
2019年は全セグメントにおいてIT支出が拡大するとの見通しを発表

米国コネチカット州スタンフォード発 — 2019年1月28日 — ガートナーは、2019年の世界のIT支出総額が、2018年から3.2%増の3.76兆ドルに達する見通しを発表しました。

ガートナーのアナリストでディステイングイッシュト バイス プレジデントのジョン・デイヴィッド・ラブロック ([John-David Lovelock](#)) は、次のように述べています。「景気後退の噂、英国のEU離脱、貿易戦争、関税引き上げによって不確実性が高まっているにもかかわらず、2019年のIT支出は拡大する可能性が高いでしょう。ただし、今後どのセグメントが成長を牽引するかについては、さまざまな動きから目が離せない状況です。携帯電話、PC、オンプレミスのデータセンター・インフラストラクチャといったセグメントへの支出が飽和状態となっている一方、クラウド・サービスやモノのインターネット (IoT) 機器への支出は伸びつつあります。特に、IoT機器はデバイスを補完するものになり始めています。デバイス市場は飽和状態ですが、IoT市場はそうではありません」

ラブロックは次のようにも述べています。「ITはもはや、ビジネス運営のための単なるプラットフォームではなく、それ自体がビジネスの原動力になりつつあります。デジタル・ビジネスとデジタル・ビジネス・エコシステムが進歩するにつれて、ITはビジネスを結び付けるものになっていくでしょう」

IT支出拡大の主要因であるクラウドへの移行が進めば、エンタプライズ・ソフトウェアは引き続き堅調に成長し、2019年の世界的なソフトウェア支出は対前年比で8.5%増加すると予想されます。2020年にはさらに8.2%増えて、総額4,660億ドルになるでしょう (表1参照)。企業は2019年のエンタプライズ・アプリケーション・ソフトウェアに対する予算額を増やしており、その多くがSaaSに移行すると見込まれます。

表1. 全世界におけるIT支出予測 (単位:十億米ドル)

	2018年 支出	2018年 成長率 (%)	2019年 支出	2019年 成長率 (%)	2020年 支出	2020年 成長率 (%)
データセンター・システム	202	11.3	210	4.2	202	-3.9
エンタプライズ・ソフトウェア	397	9.3	431	8.5	466	8.2
デバイス	669	0.5	679	1.6	689	1.4
ITサービス	983	5.6	1,030	4.7	1,079	4.8
通信サービス	1,399	1.9	1,417	1.3	1,439	1.5
IT全体	3,650	3.9	3,767	3.2	3,875	2.8

出典:ガートナー (2019年1月)

注:それぞれの領域には以下が含まれます。

- デバイス:PC、ドキュメント管理製品 (コピー機とプリンタ)、モバイル機器、タブレット
- エンタプライズ・ソフトウェア:業務アプリケーション、インフラストラクチャ・ソフトウェア、業種特化アプリケーション
- 通信サービス:固定/モバイル通信サービス
- ITサービス:コンサルティング、実装、マネージド・サービスおよびクラウド・インフラストラクチャ・サービス、ビジネス・プロセス・アウトソーシング
- データセンター・システム:サーバ、ストレージ、通信機器、ユニファイド・コミュニケーション・ツールなど

携帯電話市場は減速しているものの、デバイスのセグメントは2019年に1.6%の成長が見込まれています。中国、米国、西欧など、極度の飽和状態にある最大のスマートフォン市場を牽引しているのは、買い替え需要です。Samsungが差別化を図ったプレミアム・スマートフォンの市場投入で苦戦を強いられたこと、およびAppleの主カスマートフォンの割高感から消費者が買い替えを控えたため、2018年の携帯電話市場は1.2%縮小しました。

ラブロックは次のように述べています。「購買行動の変化に加えて、IoT機器などの新たなテクノロジーを導入した企業では、社内スタッフのスキルに立ち遅れが出始めています。IT要員の約半数は、デジタル・ビジネス戦略をサポートするためのスキルや能力を早急に習得する必要があります。人工知能 (AI)、機械学習、APIとサービス・プラットフォーム設計、データ・サイエンスなど、保持すべきスキル要件は、これまでにない速さで変化しています」

IT業界の展望については、以下の無料ウェビナーで詳細な分析をご確認いただけます。
[「IT Spending Forecast, 4Q18 Update: What Will Make Headlines in 2019?」](#)

ガートナーのIT支出予測は、IT製品およびサービスの全範囲にわたる、何千ものベンダーの売り上げに対する厳密な分析に基づいています。ガートナーは、一次調査の手法を二次的な調査資料によって補完することで、予測の基礎となる市場規模データの包括的データベースを構築します。

ガートナーが四半期ごとに発表しているIT支出予測は、ハードウェア、ソフトウェア、ITサービス、通信の各セグメントでのIT支出に関して独自の見解を提供します。このレポートは、ガートナーのお客様が市場機会と課題を把握する上で役立つものです。ガートナーのお客様は、最新のIT支出予測調査を「[Gartner Market Databook, Q418 Update](#)」でご覧いただけます。この四半期ごとのIT支出予測ページには、最新のIT支出レポート、ウェビナー、ブログ記事、プレスリリースへのリンクが掲載されています。

ラブロックは、カリフォルニア州サンディエゴで6月3～5日に、ロンドンで6月12～13日に開催される「Gartner Tech Growth & Innovation Conference」において、IT市場の主要な推進要因の詳細な分析を解説する予定です。本コンファレンスは、テクノロジー・プロバイダー向けに、最新のトレンドやツール、イノベーション予測、位置付け、先見的リーダーシップについて学ぶ機会を提供する貴重なイベントです。

ガートナーについて

ガートナー (NYSE: IT, S&P 500) は、世界有数のリサーチ & アドバイザリ企業です。ビジネス・リーダーが今日のミッション・クリティカルな優先事項を遂行し、将来にわたって成功する組織を築くために欠かせない知見、アドバイス、ツールを提供しています。

ガートナーのリサーチは、エキスパート主導かつ、実務担当者からの情報に基づき、データを重視したもので、この比類なきサービスにより、お客様が重要な課題に対して正しい判断を下せるよう導きます。業界や企業規模を問わず、ほとんどすべての職務領域にわたり、ガートナーは信頼されるアドバイザーならびに客観性を備えたリソースとして、世界100カ国以上、1万5,000社を超える企業に支持されています。

ガートナーは、意思決定者が未来に向けてビジネスを推進できるよう支援します。

詳細については下記Webサイトをご覧ください。

<https://www.gartner.co.jp> / <https://www.gartner.com>

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ガートナー ジャパン株式会社 広報室 白谷 祐加

TEL: 03-6430-1888 / Email: gartnerjp.press@gartner.com